

## ふるさとの杜は「あなたの杜」

### 植え・育て、未来の仙台市民のための杜づくりと一緒に!

#### ① 植樹会・育樹会に参加する **個 団**

- 本プロジェクトでは、「植樹会」や「育樹会」を定期的に開催しています。開催情報は随時下記ホームページ等でご案内しています!

#### ② 育樹講座等の植え・育てるための学びの機会に参加する **個**

- 植樹や育樹のための学びの機会を講座等の形で開催しています。

#### ③ 団体・企業で「エリア設定型の杜づくり」に参加する **団**

- 海岸林などにおいて、企業等の団体ごとにエリアを決めて、都合に合わせて育樹をしていただけるエリア設定型の杜づくりも採用し、推進しています。

#### スタンプカードとメルマガ、はじめました!

植樹会・育樹会・連絡会議会員の活動への参加ごとに1ポイントたまります。参加の記録も兼ねて、ポイントを集めて楽しみましょう! メルマガも配信中です! 仙台市のホームページから登録できます!



#### 環境学習と苗木圃場のイメージ

植え・育てる活動を継続していくためには、環境学習の場づくりも必須です。そのための活動拠点や、苗木の圃場等も必要と考えています。



兵庫県立尼崎の森中央緑地の事例(苗木の圃場/子ども達の環境学習の現場)

### みどりに触れ、楽しみながら、広め、伝える!

#### ① プロジェクトを広める!

- 市民協働のプロジェクトとして、より多くの方々と一緒に進めます。
- 輪を広げていくには、参加者ひとりひとりの発信も重要です。

#### ② 後世に伝える!

- 杜づくりを通して震災の記憶と復興の過程を、後世に伝えていくために、未来を担う子どもたちと進めます。
- 学校等の教育機関と連携して進めます。
- 全国からの被災地研修やボランティア活動を受け入れます。



### ふるさとの杜を活用し、より豊かな“暮らし”と“憩い”を!

#### ① 自然の恩恵を感じ、憩う場所づくりを!

#### ② 海岸や貞山堀、海岸公園の遊びやスポーツ、学習活動等を通じて、ふるさとの杜をより身近なものに!

震災後の貞山運河では、ボートやカヤックの体験なども行われています。



### このプロジェクトを支える様々なかたち!

この活動は、次の様々な資源(リソース)を必要とします。ご支援をお待ちしています!

#### ① 寄附 **個 団**

- 仙台市の「仙台ふるさと応援寄附」で「ふるさとの杜再生」のメニューを指定してご寄附をお願いいたします!

#### ② 苗木等の寄附 **個 団**

- みどりはまだまだ必要! 資金だけでなく、苗木の寄附もお待ちしています! (樹種等は事務局まで御相談ください)

#### ③ 人材(マンパワー)の提供 **個 団**

- 上記「植える」「育てる」機会への参加は大歓迎です!

#### ④ 資材の提供 **個 団**

- 植樹、育樹に必要な器具等のご提供もお待ちしております!

**例えば** 移植ゴテ、一輪車、肥料、用土、防風柵、防風垣、防風ネット、観察・成長記録・活動記録等に必要の機材、植樹場所の提供、情報の提供など

#### 連絡会議に加入する **団**

本プロジェクトは、連絡会議を組織して運営しており、団体での加入が可能です。

**個** 個人、家族で! **団** 団体・企業向け!

お問い合わせは、事務局までご連絡ください。

仙台市ホームページ「ふるさとの杜再生プロジェクト」

<http://www.city.sendai.jp/ryokukasuishin/kurashi/shizen/midori/project/index.html>

「仙台ふるさとの杜再生プロジェクト」  
<https://www.facebook.com/sendai Furumori/>



仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議

事務局 仙台市建設局百年の杜推進課

電話 022-214-8389

メール [ken010241@city.sendai.jp](mailto:ken010241@city.sendai.jp)

発行: 2018年2月



### 仙台東部地域のみどりの再生を目指す

# ふるさとの杜再生プロジェクト

## 市民の手でふるさとの杜を再生する

“杜の都”仙台には、奥山と里山、平野、海岸などの豊かで広大な自然環境が身近に存在し、それらは私たちの暮らしやまちの環境をより豊かなものとしています。

かつて東部地域には、防風・防砂のための藩政期以来の海岸林や、憩いの場としての海岸公園とそのみどり、農村に暮らす方々の屋敷林: 居久根(いぐね)など、私たちの暮らしに必要な不可欠な多様なみどりがありました。

平成23年3月に発生した東日本大震災の津波により大きく失われた、仙台東部地域のみどり。

このプロジェクトは、これらの仙台東部地域一帯のみどりを、市民ひとりひとりの「ふるさとの杜」と捉え、再生に取り組んでいくプロジェクトとして、平成25年度からスタートしました。

30年かけて植え育て、震災の教訓・記憶、復興の記録として、また、みどりの財産として様々な立場の人々の協働により次代につないでいく、壮大で息の長い震災復興のメモリアル事業です。

